

### 大崎市のおすすめ農産物をPR

産業政策課企画調整係 ☎ 23-2281

市では、「安心、安全、おいしさ」にこだわって市内で生産される米を、本市のおすすめ品として登録しPRする「こだわり農産物PR推進事業」を行っています。平成25年度のこだわりの米の登録申請を受け付けします。

登録された農産物には「大崎市こだわり農産物マーク」を表示できます。

申請期間 2月1日(金)から4月1日(月)

申請資格 市内在住の個人または市内に事業所のある事業者

対象 有機農産物の日本農林規格(有機JAS)、みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度、JAによる環境保全米などの市内でこだわりを持って生産された米

申請書類 申請書(産業政策課で配布)、各種認証などの書類の写し



大崎市こだわり農産物マーク

#### こだわり農産物提供推奨店募集

こだわりの米を使った料理を提供する「大崎市こだわり農産物推奨店」を募集します。推奨店には、掲示板とのほりを配布します。

- ◆申請期間 2月1日(金)から4月1日(月)
- ◆申請資格 こだわり農産物として登録された米を使用している飲食店およびホテル、旅館などの宿泊施設
- ◆推奨期間 登録された日から2年間
- ◆申請書類 申請書(産業政策課で配布)

### バイオスタウン市民のつどい

NPO法人宮城マネジメント協会 ☎ 24-9565 ☎ 24-9571

大崎市バイオスタウン構想を推進するため、地域のバイオマス資源を活性化し、環境を守り続けていく人材を育てる風土を築きます。ぜひ、参加ください。 ※バイオマスとは、動植物から生まれた再生可能な資源です。



残さを処理し再資源へ

日時 2月9日(土) 13時~17時

会場 市民活動サポートセンター(古川駅前ふるさとプラザ)

内容 ①基調講演「食品残さを活用した飼料(エコフィード)の取り組みについて」②パネルディスカッション「大崎市の農業、畜産業、林業の活性化を考える」

定員 先着順70人

料金 無料

申込 電話またはファクス(住所、氏名、電話番号を記入)で申し込み

### 第7回大崎市スノーフェスティバル in オニコウベ

大崎市スノーフェスティバル実行委員会 (オニコウベスキー場) ☎ 86-2111

運動不足解消とこの冬一番の思い出づくりに、白銀のグレンデで冬遊びを楽しみませんか。ぜひ、参加ください。

会場 オニコウベスキー場

16日(土) 19時~21時

内容 たいまつ滑走、ウッドキャンドル、コンサート

17日(日) スノーフェスティバル:10時30分~14時30分、イベント受付:9時から10時まで先着順

内容 第4回全日本スコップ雪投げ選手権(子ども部、大人部)、スノーフラッグ大会(小学生部、男性部、女性部)、そりすべりタイムレース(先着30組)、宝さがし大会(10歳以下)、もちつき、雪遊びコーナー、飲食コーナーなど



昨年のもちつきの様子

#### 平和作文コンクール入賞作品

★小学生の部 最優秀賞	
古川第二小学校5年 船橋暖人さん	平和について
★小学生の部 優秀賞	
古川第一小学校5年 植木聡史さん	ぼくの終戦記念日
古川第一小学校6年 柴田幸拓さん	平和への思い
鹿島台小学校5年 高橋孝太朗さん	戦争なんてなければ良いのに
松山小学校6年 間宮龍晟さん	「平和」を考えた夏休み
★中学生の部 最優秀賞	
三本木中学校1年 佐藤春菜さん	世界の平和
★中学生の部 優秀賞	
三本木中学校1年 加藤華奈さん	手を取り合って
三本木中学校1年 佐々木詩乃さん	平和な世界
古川南中学校3年 鈴木淳子さん	平和について学んだこと
松山中学校1年 遠山皓介さん	平和と命の大切さ



左から小学生の部最優秀賞の船橋暖人さん、伊藤市長、中学生の部最優秀賞の佐藤春菜さん

市では平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。平成二十四年度は、八十二作品の応募がありました。審査の結果、最優秀賞には、小学生の部が古川第二小学校五年・船橋暖人さんの「平和について」と、中学生の部が三本木中学校一年・佐藤春菜さんの「世界の平和」が選ばれました。

政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

### 小・中学生平和作文コンクール入賞作品発表

### 宝の都(くに)・活性化貢献賞

政策課政策企画担当 ☎ 23-2129

「宝の都(くに)・活性化貢献賞」は、本市の将来像「宝の都(くに)・大崎~ずっととおおさき・いつかはおおさき~」の実現に向け、市民活動の普及、創意と工夫による地域活動を促進する個人や団体に贈られます。

平成24年に本市の活性化に先導的な活動や役割を果たした2つの団体に感謝の意を込めて、貢献賞を贈呈しました。

受賞団体、活動の概要は次のとおりです。(敬称略・順不同)

#### 高倉薬(ひこばえ)太鼓 (代表 門脇勝文氏)

活動概要 高倉薬太鼓は「苦境の中でも芽吹く薬のように強く生きるように」と命名。平成22年度から3年連続「日本太鼓ジュニアコンクール全国大会」に出場。各種大会、イベントなどの参加の依頼も多く、熱気あふれる演奏は観客に多くの感動を与え続けている。

#### 鳴子まちづくり協議会 (会長 高橋鉄夫氏)

活動概要 自立性とアイデアに富んだ数多くの事業を展開し「地域課題の解決」に取り組んでいる。特に東日本大震災時、沿岸部の避難者を受け入れた際は、避難者が必要としていることを把握し、地域行事の紹介をしながら参加を呼び掛けた。また手づくりの応援プレートやのぼりを作成し町中に掲示。避難者と地域住民との一体感の醸成に大きく寄与した。



左から鳴子まちづくり協議会の高橋日出夫さん、大場雅之さん、会長の高橋鉄夫さん、伊藤市長、高倉薬太鼓の代表の門脇勝文さん、高橋修一さん、門脇美歩さん